

齋藤博嗣が参加、発言、登壇、レクチャーした「国際家族農業年 2014」関連するセミナー、シンポジウム、ワークショップなど。 (※参照：<http://saito-hirotsugu.seesaa.net/>)



▶2014年6月14日 場所：上智大学

「国際家族農業年と人びとの食料主権 一国連食糧農業機関(FAO)のパラダイム転換を学ぶ」登壇

▶2014年9月18日 場所：イイノホール(千代田区内幸町)、JAとNHK主催、農林水産省後援食糧フォーラム2014「“小さな農”のあり方」～国際家族農業年に考える～・参加

▶2014年10月19日 場所：お台場・潮風公園、農林水産省後援

土と平和の祭典2014「国際家族農業年“家族”をキーワードに、共に生きることの難しさと大切さ」

『これからの地域のカタチ 地域を変える！コミュニティファーマー最前線！百姓は毎日が緑の祭典！！』・TALK

▶2014年11月24日 場所：立教大学 ※参照①②

「国際家族農業年と日本農業 一小規模家族農業の再評価に向けて」・参加

▶2014年11月25日 場所：参議院議員会館 ※参照①②

「国際家族農業年で問われる日本の政策 一国際家族農業年から始まる小規模農業の道」・発言

▶2015年12月5日 場所：上智大学

第35回国際シンポジウム・上智大学 IGC& 国際基督教大学 SSRI-ICU

「食と農を支配するのは誰か？ーグローバル化時代における社会運動、民主主義、人権への新たな課題」・登壇

▶2016年12月23日 場所：グランスイート虎ノ門

NPO法人メダカのがっこう研究会・第3回「食とお米とその周辺」テーマ「種」・レクチャー

▶2016年9月15日 場所：NPO法人アジア太平洋資料センター(PARC)自由学校

環境と暮らしの学校【都市で食べる、都市を耕す】「一反百姓のすすめ 一生きる自給率『1年1人1%Up』の暮らし」・レクチャー

▶2017年3月13日 場所：茨城県阿見町

「じねん道の一反百姓フィールドで、フランス人研究者たちと『種蒔き』国際交流」・ワークショップ ※参照③

2014年「国際家族農業年」のセミナー、講演者として来日されたフランス人研究者、フランス農業開発研究国際協力センター(CIRAD)の2人、ボスク氏(国連世界食料保障委員会専門家ハイレベル・パネルのリーダー)とスリゾー氏、京都大学での研究会に招かれたガスラン氏(フランス国立農学研究所:INRA)を加えた3名の方々やコーディネーターの方達とじねん道・齋藤ファミリーで交流

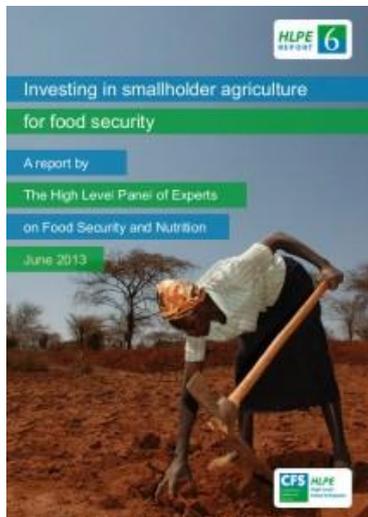
※参照①:ボスク氏がリーダーを務め、国連に提言された報告書『食料保障のための小規模農家への投資』Committee on World Food Security(CFS)The High Level Panel of Experts(HLPE)『Investing in smallholder agriculture for food security』2013

※参照②:上記の日本語訳、関根佳恵氏(愛知学院大学、家族農業ネットワーク・ジャパン:SFFNJ代表)日本から執筆参加

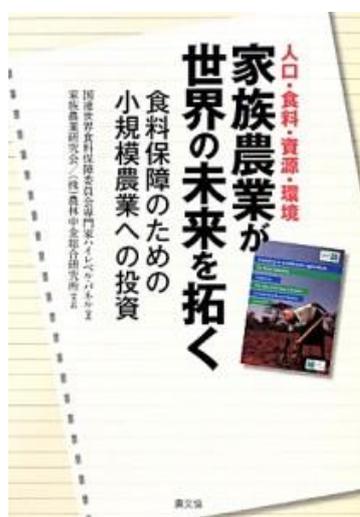
国連世界食料保障委員会専門家ハイレベル・パネル『家族農業が世界の未来を拓く』農文協、2014年

※参照③: NPO法人APLA『ハーリーナ no.36』2017年5月号10ページ、「じねん道」執筆のコラム

〈百姓の100章 06〉種蒔きは〈世界共通言語〉、土は〈無限のプラットフォーム〉ー「国際家族農業年」という世界の新たな潮流と共に



①



②



③